

様式例(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

平成 30 年度の事業報告書

平成 30 年 4 月 2 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人博心館

1 事業の成果

平成 30 年 4 月特定非営利活動法人博心館は、地域の高齢化や子どもをとりまく環境の変化など、地域社会の課題を解決する事を目的として設立いたしました。

平成 30 年 7 月から第一歩の事業として「地域の子どもは地域で見守る」をスローガンに「城内こども塾博心館」の運営をはじめました。

こども塾の活動は、スタッフと地域のボランティアで子どもたちを様々な価値観で見守り、子どもたちの自己肯定感を育み、非認知能力を向上させることを目的とすると共に、子どもを中心に地域の大人と親世代の交流を深め、地域コミュニティを活性化することを目標としています。

開塾当初 9 名だった児童も 33 名に増え、ボランティア登録者も現在 27 名となり、平日は常時 20 名前後の児童が、保護者が迎えに来るまでの間、スタッフおよびボランティアスタッフと共に塾で過ごしています。

また当法人は開塾当初より日本財団と、同財団が行っている子どもの貧困対策プロジェクト「第三の居場所」事業を行う協定を結んでおり、唐津市から紹介を受けた市内の就学援助や児童扶養手当受給家庭の子どもも通っており、財団事業対象児童の数も当初 2 名から現在 7 名と増えました。(人数は平成 31 年 3 月 31 日時点)

塾では一般家庭の子どもも日本財団事業対象家庭の子どもも分け隔てなく接し、現在行っているプログラムは別紙記載していますが、宿題支援と古典学習は基本的に毎日行い、その他の時間はそれぞれの曜日で各種講座や課外プログラムを行っています。

またスタッフは日本財団からの支援で子どもの非認知能力を伸ばすプログラム「ライオンズクエスト」の研修を受け、子どもたちの能力向上のため自己研鑽も行っています。

この 1 年間、子どもたちと接しいろんな事を学びました。現在は非認知能力を育てるに当たっても、そのベースとして一番必要なことは子どもたちの自己肯定感をしっかりと育むことであると感じています。

子どもたちの中には問題行動を度々おこし、学童保育から断られた子どもも入塾していますが、とにかく優しく接し、話をよく聞き、スタッフと子どもの間に強い信頼関係を築くことによって子どもたちの自己肯定感が生まれ、乱暴な行動や言動が改善された子どももいます。

今年度の経験をもとに、次年度はもっと多くの子ども達と関わり、プログラムも随時見直し改善を行い、またそのプログラムの効果を客観的に検証する方法も考案し、子どもたちにとってより良い施設になるよう取り組んでいきます。

事業計画に掲げた国際交流に関する事業、地域コミュニティに関する事業については、本年度はそれぞれについて開催されたイベントに参加しました。次年度は子どもたちが主体的にイベントと関わりを持てるように課外プログラムを企画し、子どもたちの知見を広げるとともに、子どもたちを中心としたコミュニティの創出を図り今後の事業展開に繋げていきたいと考えています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位:千円)
①子どもの貧困対策に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂および学費援助事業 :食事提供を必要とする児童が少なく期間内で5回と利用回数は少なかった。 ・子どもの第三の居場所づくり事業 :当初9人(内、b&g事業対象児童2名)→期末33名(内、b&g事業対象児童7名)。 	<ul style="list-style-type: none"> (A)通年 (B)博心館 (C)従業員8名 ボランティア27名 	<ul style="list-style-type: none"> (D)唐津市内の児童 (E)33名 	1,553
②学力・人間力育成に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人間力育成講座の開催 (論語などの古典学習指導) ・こども塾の開催 ・日本の伝承あそび継承事業(けん玉、羽つき、将棋等) ・日本の伝統文化に触れながら日本人の精神を継承する活動 ・子どもの学習能力向上のための専門家による学習指導 ・各種体験学習 ・日本の伝統文化に触れながら日本人の精神を継承する活動 <p>以上7項目を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学習能力向上のための専門家による学習指導 ・AIロボット活用などの事業(ペッパー、ロボホン他) <p>上記2項は、行わなかった</p>	<ul style="list-style-type: none"> (A)通年 (B)博心館 (C)従業員8名 ボランティア27名 	<ul style="list-style-type: none"> (D)唐津市内の児童 (E)33名 	608
③子育て応援に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども及び当団体関係者の発育健康啓発活動 ・ひとり親家庭の親(特に母親)の事業参画への呼び掛け ・放課後児童健全育成事業 <p>以上3項目を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (A)通年 (B)博心館 (C)従業員0名 	<ul style="list-style-type: none"> (D)唐津市内の児童 (E)0名 	0

④ 国際交流に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流や語学学習を通し、唐津在住の外国人家庭の支援や子どものグローバル化に対応できる教養を支援 :平成30年10月13日(土) 「2018 さが国際フェスタ」参加 ・外国人家庭の子弟との交流 ・在住外国人、訪日外国人に対する便宜増進を図る事業 :「2018 さが国際フェスタ」で無料相談コーナー設置 	(A)通年 (B)博心館 (C) 従業員8名 ボランティア27名	(D)唐津市内の児童及び外国人家庭 (E)33名	10
⑤ 地域コミュニティの醸成に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティを醸成するイベント等に参加し、地域の活性化に寄与 :平成30年8月18日(土) 「城内夏祭り総踊り」参加、 平成30年12月8日(土) 「おやぢから餅つき大会」参加 	(A)通年 (B)博心館 (C) 従業員8名 ボランティア27名	(D)唐津市内の児童 (E)33名	30
⑥ 他団体の活動支援に関する事業	本年度は実施予定なし			
⑦ その他、会の目的達成のために必要な事業	<ul style="list-style-type: none"> 活動に伴う広告 :上記は、行わなかった 	(A)通年 (B)博心館 (C) 従業員0名	(D)唐津市 (E)市民	0